

こちら消防 119

消防本部総務課
(☎83-2037)

消防団員の入団を募集しています

山陽小野田市消防団は、市内全域を管轄するため消防分団を各小学校区に配備しており、『自らの地域は自らが守る』という郷土愛の精神のもと、地域に根ざした消防団活動を実施しています。

みなさんが住んでいる山陽小野田市が、『明るく安全で住み良い街』となるには、若いあなたの力が必要です。あなたのボランティア精神をぜひ消防団活動に役立ててみませんか？



■入団資格

- 郷土愛に満ちあふれ、地域防災に熱意を持っている人
- 18歳以上 40歳以下で健康な人
- 市内に居住している人

■問い合わせ先

消防本部総務課 (☎ 83-2037)

えがおのまち 10

人権尊重の風を

地域によってはタクシーも全面禁煙というニュースが流れ、愛煙家のみなさんには大変肩身の狭い社会になりました。しかも、この流れは今後も止められそうにありません。最近の禁煙という流れはこの数年の間に一気に社会全体に広まってきましたが、それはなぜでしょう？

体に悪いから？近年の健康志向です。それもあってでしょう。でも、タバコが体に悪いことはずいぶん昔から分かっていた。分煙を義務づけた健康増進法が社会に浸透してきた？それもあってでしょう。でも一番大きな理由は、みなさんの意識、もっと言えば社会の風向きが変わってきたことだと思います。「みんなもやめてるし、今がやめ時かな？」「家族のことを考えたら・・・。」「息抜きはもっと他の方法でできるかも・・・。」といった感覚の空気が風となって世の中の隅々にまで吹き込んできたということではないでしょうか。

人権も同じです。社会に人権尊重という大きな流れを作ることができるのではないかと思います。「いつまでそんなこと(差別)やってるの？」「差別？格好悪いよ。」「いじめなんて時代遅れだね。やめたら？」といった空気が大きな風となり、社会全体に吹けばいいのです。

みなさんの心の持ち方ひとつだと思います。ぜひ、あたたかい人権尊重の風を吹かせましょう。

(社会教育課)



17 自治

昨年は地方自治法の施行から60周年に当たる年でした。その間、何度も改正されましたが、2000年に地方分権一括法が成立したことで、国家主導であった戦後地方自治の基本設計が改められ、国と地方が対等な関係に変革されるという画期的な第一歩を踏み出したと言われてきました。あわせて近年、市町村合併や三位一体の財政改革などが推進されましたが、依然国の関与が温存され、地方交付税の大幅な削減によって、地方財政は深刻な打撃を受け、期待された「自治」の実現は程遠く、税源に乏しい地方は疲弊し、地域間格差はますます拡大しています。

従来、「自治」とは“団体自治”と“住民自治”の大きく2つの要素で語られてきました。“団体自治”とは地方が国から独立した法人格をもって、自らの責任において公共的な事務を処理することです。昨今の状況を踏まえて、国は新たな法律を成立させるなど地方分権・地方自治を更に推進し、法制によって“団体自治”が一層保障されることとなりました。

“国の下請け機関”としてではなく“地方政府”としての「自治体」となるために、言い換えれば、地方財政を確立して、自律的な地域を形成していくために、団体自治とともに、市民の力で自治を行う“住民自治”が必要です。今回は、住民自治についてお話しする予定です。

行政改革課 (☎ 82-1135)